

【ご参考】

下記は 2019 年 7 月 16 日に NY で配信したリリースの概略部分の参考和訳です。本文と原文の内容に相違がある場合は原文が優先します。原文リリースは[こちら](#)からご覧いただけます。

JP モルガン・チェース、2019 年第 2 四半期決算を発表

純利益 97 億ドル、EPS 2.82 ドル

- 株主資本利益率(ROE)16%、有形自己資本利益率(ROTCE)²20%
- 普通株ベース Tier1 自己資本比率³12.2%
- 配当性向^{4,5}92%

2019 年第 2 四半期(以下、当期)の業績概要¹

会社全体

- 当期収益は 288 億ドル、管理ベースでは 296 億ドル²
- 平均コア貸出金²は前年比 2%増、前期比 1%減

CCB: コンシューマー&コミュニティ・バンキング (当期 ROE: 31%)

- 平均コア貸出金は 2%減、ローン売却の影響で住宅ローン貸出金は 7%減、クレジットカードローンは 8%増
- 顧客投資資産は 16%増、平均預金残高は 3%増
- クレジットカード販売取扱高⁶は 11%増、加盟店取扱高は 12%増

CIB: コーポレート&インベストメント・バンク (当期 ROE: 14%)

- グローバル投資銀行業務の手数料収入のウォレット・シェアは 9.2%で業界トップ維持
- 54 億ドルのマーケットツ業務収益は横ばい、又は調整後 6%減⁷

CB: コマーシャル・バンキング (当期 ROE: 17%)

- インベストメント・バンキング収入は 592 百万ドル
- 高いクレジットパフォーマンスによる 3 bps の純償却

AWM: アセット・ウェルスマネジメント (当期 ROE: 27%)

- 平均貸出残高は 7%増
- 運用資産残高(AUM)は 7%増の 2.2 兆ドル

【ご参考】

重要な項目

- 2019年 第2四半期決算は全行 768 百万ドル(1株当たり 0.23ドル増)の所得税ベネフィットも含まれている。

盤石な財務基盤

- 1株当たり簿価は 7%増の 73.77ドル、有形資産 1株当たり簿価²は 8%増の 59.42ドル
- バーゼル III 普通株ベース Tier1 自己資本³は 1,890 億ドル、同比率³は 12.2%
- 全社ベース SLR(補完的レバレッジ比率)は 6.4%

営業レバレッジ

- 当期費用は 163 億ドル、オーバーヘッド比率は 57%、管理ベース²で 55%

資本還元

- 当期には 75 億ドル⁵を株主に還元
 - 自社株買い純総額 50 億ドル、普通株式配当 1株当たり 0.80ドル

お客様や地域社会のために

- 当期の融資および資本調達⁸実施額は 1.1 兆ドル
 - 個人のお客様向け融資 1,190 億ドル
 - 米国のスモール・ビジネス向け融資 140 億ドル
 - 法人向け融資 4,350 億ドル
 - 法人および非米国政府機関向けに実施した資本調達 5,470 億ドル
 - 非営利団体および米国政府機関(州、自治体、病院、大学)向けに実施した融資・資本調達は 340 億ドル

-
- 注記のない限り%は前年同期比
 - 管理ベース会計を含む非 GAAP 財務指標に関する注記は英文リリース 6 頁を参照。追加注記は同 7 頁参照
 - 概算。バーゼル III 規制上の自己資本、リスク加重資産および自己資本比率は、2019 年 1 月 1 日より完全に段階的に導入されています。当社の自己資本比率は、Basel III に基づく完全に段階的に導入された測定値と比較して評価されており、標準的手法と先進的手法のうち低い方を表しています。これらの措置に関する追加情報については、2018 年 12 月 31 日に終了した年度のフォーム 10-K の会社の年次報告書の 85-94 ページおよび 2019 年 3 月 31 日に終了した四半期のフォーム 10-Q の 32-36 ページをご参照ください
 - 過去 12 カ月(LTM)
 - 従業員持株分を除く
 - コマーシャル・カードは除外
 - 調整マーケット収益は、Tradeweb(電子取引プラットフォーム)への戦略的投資による IPO からの利益を除外しています
 - 顧客向け与信枠はローンおよびコミットメントを含む新規および継続更新された与信枠を指す。スモール・ビジネス向け与信枠はカード、コマース・ソリューション&オートおよびコマーシャル・バンキングを含むコンシューマー&ビジネス・バンキングが提供した貸付と与信枠増加分を指す。州、自治体、病院、大学を含む非営利団体・政府機関向け与信枠はコーポレート&インベストメント・バンクとコマーシャル・バンキングが提供した与信枠を示す